

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2012年11月号 通巻47号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2012

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## 中央区まであと50m

### タヌキが中央区に進出する日は来るのか？



(左)「秋葉原事件」の現場である神田川の美倉橋。この橋の下で大捕り物が繰り広げられた。  
(右)呉服橋交差点(中央区)より西側を見る。赤矢印が「大手町事件」の現場となったJXビル(旧・新日鐵本社)。奥の高架はJR。

東京タヌキ探検隊！が収集した数多くの目撃情報でも、東京都中央区と墨田区では未だタヌキの目撃情報はありません。墨田区ではごく少数が生息している可能性があるものの、中央区では定住は不可能と考えられています。しかし、中央区の間近にまでタヌキが肉薄した事例は複数ありました。

### あと少しだった有名事件

まずは2005年11月の「秋葉原事件」です。実際の事件現場は秋葉原からはちょっと東へ離れた、神田川にかかる美倉橋でした。この橋の下にタヌキがいて、水上艇まで出動した末にようやく捕獲されました。もうひとつ下流の橋が中央区との境界線、あと240mほどでした(地上での最も近い境界線までは約160m)。このタヌキ、どこから来たのかは今も謎ですが、一番自然な推理は「神田川を下ってきた」というものです。神田川をさかのぼると確かにタヌキの定住場所があります。

次の事例は2008年12月、JR神田駅近くでの目撃情報です。この時はあと100mで中央区でした。このタヌキは皇居から来たものとみて間違いなさそうです。位置関係からすると一時的に中央区を横切ったかもしれません。

そして、さらに中央区に迫ったのが2010年11月の「大手町事件」です。これは大手町のJXビルの地下入口からタヌキが侵入したという事件でした。ここから西へ道路をまっすぐ行けば皇居の大手門です。このタヌキも皇居から来たのは確実です。事件現場から中央区まではたったの60m！現場近くをうろついていたならば中央区に足を踏み入れていた可能性はかなり高いです。

### 定住は不可能？

これらの事例の日付はいずれも11～12月です。つまり、親離れた若い個体が新天地を目指して旅をしていたらしい、ということの意味します。すべてのタヌキが長距離移動

するわけではありませんが、まれにかなり遠くへ移動する個体がいるようだ、ということは他の目撃情報からも推測できます。ですから、いずれ中央区に到達するタヌキが必ず現れるだろうと期待できるのです。ただ、そこで定住できるかどうかは別の話で、緑地の少ない、つまり食物の少ない中央区で生き延びるのはかなり難しいでしょう。

ところが、ハクビシンはというと以前も報告したように、既に中央区に間違いなく定住しています。緑地を離れられないタヌキに対して、ハクビシンは街路樹なども利用することで都市生活に適應することができているようです。

## スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>